

就職難、カンニング、中退増……大学への信頼性、どう高める?

## 3月20日、「情報公開時代」の大学を考えるシンポジウム開催

- ・大学受験のカンニング問題、就職難、中退増など、「大学」に対する信頼が近年損なわれつつあります。
- ・現在、大学への進学率は50%を超え、学生の質の変化に合わせた教育内容の改善が強く求められています。
- ・文部科学省は4月より、大学の「教育情報」の公表義務付けを施行します。偏差値やイメージによらない、受験生の大学選びの基準を増やすとともに、健全な競争を促すことにより、大学の教育力向上を狙っています。
- ・各大学がエビデンスに基づいた「教育成果」で評価される時代が到来しつつあります。
- ・しかし、現状でそれに耐えうる大学はどれだけあるのでしょうか?
- ・大学の「情報公開」は、結果として私たちの大学に対する信頼を一層損なう可能性があります。それは日本の「社会」に対する信頼の損失とも言えます。
- ・本シンポジウムでは、「情報公開時代」における日本の大学の未来を考え、信頼回復の糸口を模索いたします。

若者たちの社会的弱者への転落を予防するために、大学・短大・専門学校の中退退学を未然に防ぐ活動に取り組む日本中退予防研究所(運営:NPO法人NEWVERY/理事長:山本繁/事務局:東京都豊島区)では、これまでの調査・研究、中退予防コンサルティング等を通じて蓄積した「中退したいと思われぬ大学・専門学校づくり」のノウハウを1冊にまとめた『中退予防戦略』を3月18日に発刊いたします。

本シンポジウムはその記念イベントにあたり、大学改革の最前線に立つ有識者らと共に、大学の情報公開は、社会、大学、受験生にどのような影響を与えるのか?新しい大学像等について議論いたします。日本の高等教育について、根底から考える場にしたいと考えます。どうかご取材くださいますよう、ご検討ください!

### 【シンポジウム登壇者】

◆大坪 檀 (おおつぼ・まゆみ)

静岡産業大学学長

◆原 陽一郎 (はら・よういちろう)

長岡大学学長

◆福島 一政 (ふくしま・かずまさ)

愛知東邦大学理事

◆松本 美奈 (まつもと・みな)

読売新聞編集局教育取材班記者

◆山本 繁 (やまもと・しげる)

NPO法人NEWVERY 理事長

兼 日本中退予防研究所所長

【名称】 「情報公開時代」の大学を考える～『中退予防戦略』発刊記念シンポジウム～

【日時】 2011年3月20日(日) 13:00-17:00 【場所】 日本財団ビル 2F 大会議室

【定員】 200名(要・参加申込) 【参加費】 1,500円

【主催】 日本中退予防研究所 【協力】 日本財団CANPANプロジェクト

【URL】 <http://www.stoptheneet.jp/symposium/766.html>

<このプレスリリースに関するお問い合わせは下記まで>

NPO法人NEWVERY内、日本中退予防研究所 担当:山本(やまもと)/武井(たけい)

TEL/FAX:050-1071-8324 E-mail: [info@newvery.jp](mailto:info@newvery.jp) WEBSITE: <http://www.newvery.jp/>